

**喜**

寿を迎えて6か月の今、あの頃を思い出します。50歳の頃、健康維持のためサイクリングを励行していました。加世田方面へ走行中、日吉支所の前を通り少し山手に向かうと田んぼに人が多く集まっています。自転車を止めて見ますと、田んぼの中で人が動き回っています。ああ、これが「せつぺとべ」だと思い、しばらく見ていました。大人も子どもも泥をかけあい笑顔满面のままに動き回っていました。懐かしい情景が思い出されます。

(K・H 東市来町 70代男性)

お便りありがとうございます。  
約20年以上前の「せつぺとべ」。今も昔も変わらないようですね。聞けば420年以上の歴史があるんだとか。これからも地域の伝統は変わらずにいて欲しいですね。

**な**

んの罰かよ八幡馬場へ 八里距てて跳つけ戻る。アーオヤマカチヨンゲ、チヨシチヨシチヨシチヨシ「名残じゃ名残と今夜づいの名残じゃ 明日は鹿児島で苦労する。アーオヤマカチヨンゲ、チヨシチヨシチヨシチヨシ」。日本人の食、米の消費は減っていますが、米食とお田植え祭り「せつぺとべ」は残していきたい。  
(せつぺとべ経験者 日吉町 80代男性)

お便りありがとうございます。

日吉のお田植え祭り「せつぺとべ」は、日本の稲作文化を象徴しているのかもしれない。市内各地でお田植え祭りが行なわれていますが、カメラが汚れないように泥に気をつけながら取材する祭りは「せつぺとべ」だけです。

今月のお題～せつぺとべ!!～

～日置市お便り板～

**梅**

雨入りし、自然災害の多い季節になりました。平成5年7月末に父を亡くし、1週間後の8月6日、俗にいう「8・6水害」で大きな被害を受け、泣きながら後片付けをしました。それに追い打ちをかけるかのように、9月3日には台風が襲来し、またまた被害に遭い、忘れることのできない年になりました。「災害は忘れたころにやって来る」。しかし、私はあの時のことを絶対に忘れない。だから如何なる災害でも想定できる。備えは万全を期し、被害を最小限に食い止めたいと思います。

(T・O 東市来町 60代男性)

お便りありがとうございます。

8・6水害からもう24年も経つんですね。私も中学生でしたが、外出したまま帰ってこれない兄のことを心配していた記憶があります。その頃は携帯もなく、本当に不安でした。聞けば今年入庁した新人職員はその後の生まれで水害を経験してないそうです。あの時の記憶を風化させず、災害に対する意識を伝えて行かなければなりませんね。

**あ**

あまり詳しく広報ひおきに目を通すことはありませんでした。今回の広報を見て市民が読んでみようとする工夫がなされているように感じました。読みやすい、わかりやすい工夫がなされている。毎月の特集、行事、研修会等を市民目線で記載していただきたい。毎月が楽しみである。

(T・T 伊集院町 60代男性)

お便りありがとうございます。

行政情報をよりわかりやすく市民の皆さんに伝えることが広報の使命だと思っています。毎月楽しみにしている、そのように声をかけていただくことが広報として一番力になります。これからもがんばります！

フリートーク

～日置市お便り板～